

家庭用燃料電池「エネファーム」累積 25 万台突破について

2018 年 7 月 2 日
エネファームパートナーズ

エネファーム普及推進協議体「エネファームパートナーズ」（事務局：日本ガス体エネルギー普及促進協議会^{※1}）は、家庭用燃料電池「エネファーム」の累積普及台数が 25 万台^{※2}を突破したことをお知らせいたします。

エネファームは、都市ガスやLPガスから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応により発電する家庭用燃料電池システムです。発電と同時に排熱を給湯に利用し投入エネルギーを最大限有効に活用することで、家庭での省エネ・省CO₂に大きく貢献いたします。

また、2014 年のマンション向けエネファーム発売以降は、集合住宅への導入も開始され、エネファームの普及は着実に進んでいます。

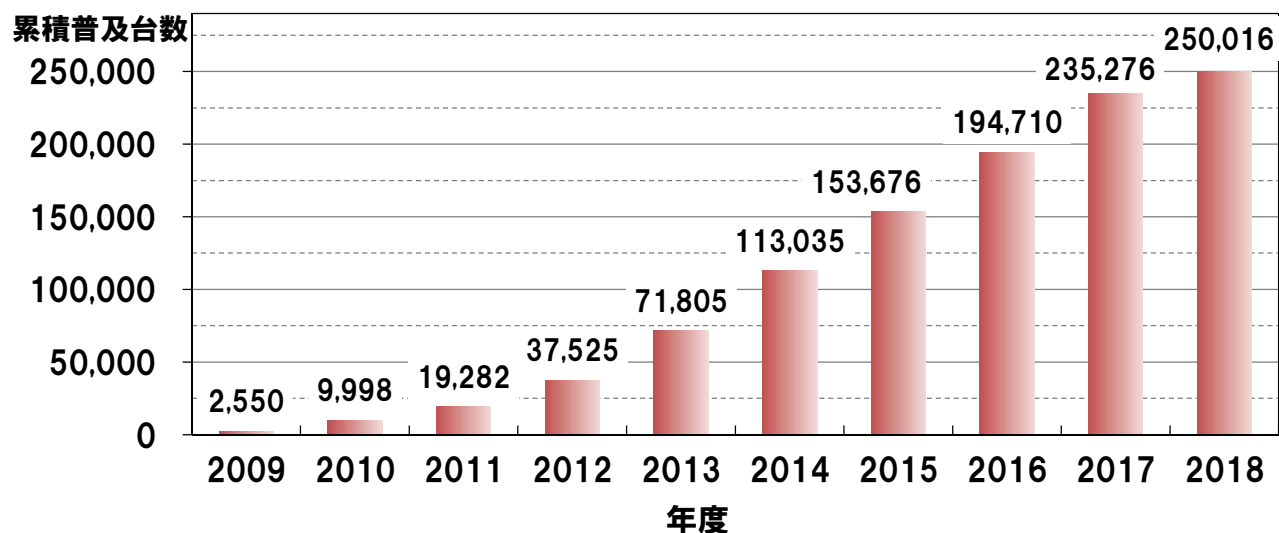
加えて、エネファームは最も社会的に普及が進んでいる水素関連技術としても評価されており、国や地方自治体の導入支援制度が整備されるなどその普及に大きな期待がかけられています。

今後も「エネファームパートナーズ」では、住宅業界、エネファーム製造業界、エネルギー業界が連携し、省エネルギー社会、省CO₂社会への貢献に向けてさらなる「エネファーム」の普及拡大に取り組んでまいります。

※1 都市ガスの業界団体である一般社団法人日本ガス協会、LPガスの業界団体である日本LPガス団体協議会、コミュニティーガス（旧簡易ガス）の業界団体である一般社団法人日本コミュニティーガス協会の3団体で構成（通称：コラボ）

※2 民生用燃料電池導入支援補助金交付決定ベース（一般社団法人 燃料電池普及促進協会集計）

「エネファーム」普及台数の推移



※民生用燃料電池導入支援補助金 交付決定ベース（一般社団法人 燃料電池普及促進協会集計）
（2018年度は7月2日11時時点）

「エネファーム」のラインナップ

2009年の発売開始以降、高効率化・小型化・低コスト化のモデルチェンジが進められるとともに、「マンション向け」や「停電時運転機能付き」などバリエーションが充実しています。

メーカー	アイシン精機	パナソニック
外観		
発電方式	固体酸化物形（SOFC）	固体高分子形（PEFC）
出力範囲	50～700W	200～700W
定格効率（LHV）	発電：52%/熱回収：35%	発電：39%/熱回収：56%
サイズ（mm）	W780×D330×H1,220	W400×D400×H1,750
タンク容量/温度	28リットル/約70℃	140リットル/60～80℃
ガス種	都市ガス/プロパン	都市ガス/プロパン
集合対応	あり（戸建と兼用）	あり（専用品）
寒冷地仕様	－	あり（専用品）

※ 定格出力、発電/総合効率は、戸建住宅向け都市ガス用の数値

「エネファームパートナーズ」について

「エネファームパートナーズ」は、「エネファーム」の一層の普及を目指し、住宅業界、エネファーム製造業界、エネルギー業界が“業界の枠”を超えて一致団結し、2013年5月に設立されました。2018年6月現在、158団体・事業者で構成されています。



以上

お問い合わせ先:

エネファーム パートナーズ事務局 (一般社団法人日本ガス協会 業務推進部内)

電話: 03-3502-0112 (一般社団法人日本ガス協会 広報室)